2026年11月発行
Vol. 2
No. 2

iCROWN NEWS LETTER

感染症臨床研究ネットワーク事業 Infectious Disease Clinical Research NetwOrk With National Repository

iCROWN事業

●臨床現場から見たiCROWNの意義・次の段階への期待



国立国際医療センター
国際感染症センター
センター長
AMR臨床リファレンスセンター
センター長
大曲 貴夫

私は新型コロナウイルス感染症のパンデミックには当初から対応にあたってきましたが、その中で、臨床情報や検体・病原体を用いて、臨床像、微生物の特性、免疫応答といった人と微生物の相互作用に関する知見を一刻も早く社会に還元しなければ、対応が前に進まないことを痛感しました。さらには、患者さんを救うために必要な治療薬を一日でも早く社会に届けるため、治験を迅速に進めることが必要となりました。また、研究・開発に関わる方々が迅速に動けるよう、臨床情報と検体を速やかに提供することも求められました。実際に、各方面からも急ぐようにとの強い要請をいただきました。この経験を通じて、私は臨床家が感染症対応とくに研究開発の観点から果たすべき役割について認識を全く改めました。臨床家が臨床の現場で感染症に向き合うだけでなく、研究開発の面からも感染症対応に貢献することが必要だと深く理解しました。

今後また同様の事態が起きたときには、私たちは迅速かつ十分に対応しなければなりません。そのために設立されたのがiCROWNです。参加施設の皆様とともに、次の危機に備え、いざ事が起きた際には迅速に対応できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。

●iCROWN事業への期待

感染症対策は、基礎研究、臨床研究、診療現場、検査体制、感染管理など、多様な専門領域の連携によって成り立っています。このたび、各分野を代表する５つの学会である日本感染症学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本呼吸器学会、日本臨床微生物学会の先生方にも、iCROWNへご参画いただくこととなりました。



日本感染症学会
理事長
松本 哲哉

新型コロナウイルス感染症のパンデミックを経験し、感染症有事に迅速に対応するには平時からの臨床研究基盤の整備が不可欠です。その意味では厚生労働省の委託事業として進められているiCROWN事業に寄せられる期待は大きく、日本感染症学会も本事業に全面的に協力してまいります。行政、医療機関そしてアカデミアが一体となり、わが国の感染症危機対応能力がより一層強化されることを願っております。



日本環境感染学会
理事長
四柳 宏

パンデミックの際には臨床情報・臨床検体を速やかに収集して病態･臨床像を明らかにし、診断･治療・予防薬の開発を進めることが必要ですが、その体制は不十分でした。感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）は情報や検体を収集・提供するだけではなく、その利活用も可能にしたプラットフォームです。日本環境感染学会としてもiCROWNを活用した研究を平時から進めることに協力していければと思います。

活動報告

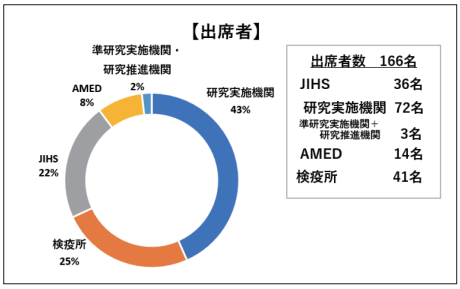
●令和８年度 第１回 施設協議会、第１回 感染症指定医療機関向け研修会を開催

令和８年７月11日（土）に、第１回 施設協議会を開催いたしました。感染症臨床研究ネットワーク（iCROWN）事業の進捗と今後の運用についてご報告し、参画医療機関として静岡市立静岡病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院より取り組みをご紹介いただきました。

また、翌７月12日（日）に、「令和８年度 第１回 感染症指定医療機関向け研修会」として「輸入感染症・動物由来感染症講習会」を開催いたしました。総勢166名（オンライン146名・現地参加20名）の方にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。



第1回 施設協議会





第1回 感染症指定医療機関向け研修会

新興・再興感染症の試料・データを感染症研究等にお役立てください

●臨床情報

（例）

基本情報	・年齢　・性別　・併存疾患　・身長/体重　・初診日/入院日/発症日
感染症に関する情報	・対象疾患の検査結果　・その他病原体検査結果　・対象疾患のワクチン接種歴
入院や治療に関する情報	・入院時症状　・転帰　・治療内容　・入院経過（体温、SpO2、HRなど）

●試料

・血漿　・唾液
・PBMC（抹消血単核球細胞）　・便
・ヒトDNA　・ぬぐい液（鼻咽頭、鼻前庭、咽頭、皮膚病変）

●ヒトゲノム解析データ

・Rawデータ　FASTQ形式　要相談
・マッピングデータ　CRAM形式　要相談
・ゲノム多型データ　gVCF（Genomic Variant Call Format），VCF（Variant Call Format）

●分離病原体・病原体ゲノム解析データ

JIHS 国立健康危機管理研究機構
東京都新宿区戸山1丁目21−1
国立健康危機管理研究機構
iCROWN運営支援室　MAIL: icrown@jihs.go.jp
©2026 Japan Institute for Health Security

iCROWNのホームページはこちら
https://icrown.jihs.go.jp